

<p>団体名：一般社団法人 ナンフェス</p>
<p>対象疾患（支援団体の場合は、対象地域や参加団体数など）：難病のうち内部障害、とりわけ炎症性腸疾患を軸にしながら、障がいのある人と多様な疾患・障がいを対象と想定している。その地域はまず日本国内から、やがて世界を視座に置いている。</p>
<p>病気または団体の説明： ナンフェスとは難病や障がいのある人もない人も、尊重し合い、楽しく暮らせる社会を目指す活動のこと。それを継続的に行う団体名でもある。そのためには一緒に活動できるような「場」が必要であり、かつ、それらを支えるための学術的研究をする団体でもある。</p>
<p>活動目的・内容： ナンフェスとは難病や障がいのある人もない人も、尊重し合い、楽しく暮らせる社会を目指す活動をすることを目的に、毎年秋に「文化祭+運動会」のような「ウォーク&ランフェスタ」を味の素スタジアムを貸し切って行っている。スポーツを誰でも出来て楽しめるよう、また、見ても楽しめるよう改変し、同時に音楽やアートを室内外で展開することによって、屋外を不可とする難病の方々にも配慮して上記の目的を達成すべく試みた。安全な参加のための救急医療体制はもとより、自身の体の今を知っていただくための「からだ検定」を通じて、自分のペースで、無理なく楽しめる仕組みづくりを工夫している。こうしたイベントにおけるボランティアの役割やあり方についても従来とは異なるコンセプトによって募集、研修、実習する仕組みを模索している。また、これらを支える学術的背景についてもこの分野に関わる日進月歩の様々な学会、研究会等に参加、発表、学術交流を重ねている。現代社会において不可欠な情報収集やその発信のためにホームページを開設し、内容の充実、即時性を求めている。</p>
<p>メッセージ（フォーラムに向けて、私たちの願い……）： 私たちは、首記の理念を大切に、すべてのメンバーがボランティアとしてプロボノ活動を推進する団体である。したがって、いかなる政治的活動や運動ともコミットしないことを原則にしている。しかしながら、この日本という国が必ずしも憲法に規定された基本的人権に関して敏感ではないので時と場合によっては政治的活動に関わる可能性があることも認識している。私たちは、活動の場を提供し、そこで難病や障がいのある人もない人も、ともにスポーツや音楽、アートを楽しむことを通じて互いの理解をすすめることを目的にしている。大人数を集めることを目的しておらず、この活動を通じて、特にイベントの日において一日を一緒に活動した人が何らかの難病患者等であったとしたら、そんな話が出てもいいし、出なくてもいいというスタンスですすめており、ゆるやかな相互理解の一つの活動と認識している。今回のようなフォーラムの開催を通じて多くの声が発信されることは極めて重要と考える。声が大きい団体や力のある団体の主張に偏らず、すべての団体の声が発信できるような仕組みを望むとともに目指すべき日本社会の構築のために積極的な提言がなされることを望むものである。</p>
<p>連絡先：一般社団法人 ナンフェス 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 健康・スポーツ科学講座渡辺研究室内 電話：042-329-7633 mail:info@nanfes.jp</p>